KIORITZ

取 扱 説 明 書

共立農用電動作業機
KWE80



⚠ 警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守らなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。

はじめに

お使いになる前に、 取扱説明書を必ずお読みください。

このたびは、**共立 農用電動作業機** をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は、本機の取り扱い方法と、使用上の注意事項について記載しています。
本製品をご使用いただく前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、内容を理解して正しくお使いください。
また、お読みになった後も、この取扱説明書を製品に近接して、いつもお手元に置いて、必要に応じて活用してください。

お願い

- ●電動作業機を初めて使用する人は、お買い求めの販売店やＪＡから作業注意事項について説明を受けてください。
- ●この取扱説明書の内容が理解できるまで、本製品をご使用にならないでください。
- ●本製品を貸したり、譲渡するときは、この取扱説明書を本製品に添付してお渡しください。
- ●この取扱説明書および安全銘板を、紛失または損傷された場合は、速やかにお買上げいただいた販売店・ＪＡにご注文ください。
- ●この取扱説明書には、安全に作業していただくために、**「安全に作業をするために必ずお守りください」**を記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
- ●ご不明なことやお気付きのことがございましたら、お買上げいただいた販売店・ＪＡへご相談ください。

おことわり

- ●本製品は改良のため、使用部品などを変更することがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ●本書の内容は、作成にあたり万全を期しておりますが、万一の誤りや記載もれなどが発見されてもただちに修正できないことがあります。

説明記号の見方

⚠危険	その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠警告	その警告文に従わなかった場合、死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠注意	その警告文に従わなかった場合、けがを負うおそれのあるものを示します。
取扱いの注意	誤りやすい操作に対する注意を示します。守らないと、機械の破損や、故障の原因になります。

本製品のオーバーホール期限について

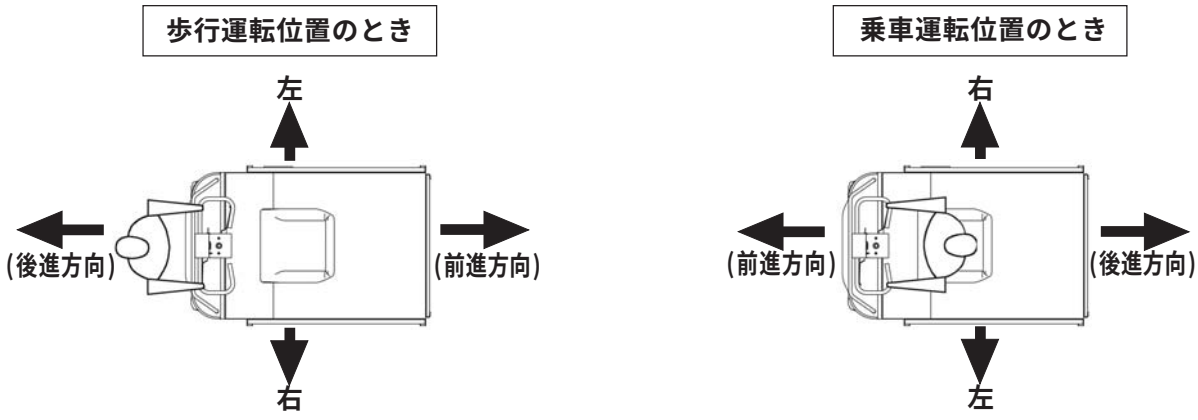
本製品は、経時的に材質が変化したり、繰返し使用されることにより、劣化、摩耗、疲労をおこします。これが原因で重大な人的および物的災害が発生するおそれがありますので、安全性をより高めるために、７０００時間または７年使用時のいずれか早く到来する方をオーバーホール期限とします。オーバーホール期限までに本機のオーバーホールをし、安全な状態で作業をされることをお勧めします。オーバーホールはお買上げいただきました販売店・ＪＡを通じまして、株式会社やまびこにご相談ください。

本製品の使用目的について

本製品は、乗用の農用電動作業機ですので、農用の作業機としてご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。(詳細は、保証書をご覧ください。)

方向について

本機の前後は、下図のように作業者から見た方向で表します。本文中の、前進・後進についても、作業者から見た方向で表します。



本文の概要

1章 安全に作業をするために必ずお守りください	●安全に関する重要な内容を、代表的な作業項目について説明しています。個別の作業については、各項目をみてください。また、各安全銘板の内容と貼付け位置を示しています。
2章 保証とサービスについて	●保証とアフターサービスについて説明しています。
3章 各部のなまえと各操作部のはたらき	●本文中、よく使う部品の名称の紹介と、よく使う操作レバー、および部品の位置とはたらきについて説明しています。
4章 運転と作業のしかた	●発進、走行のしかた、および作業台の使用のしかたを説明しています。
5章 作業後の手入れについて	●機械を最良の状態にしておくために、毎作業後および長期間使用しないときの、手入れのしかたを説明しています。
6章 手入れと点検・調整について	●長期間故障がなく、本機を安全に使用するための点検・整備のしかたを説明しています。
7章 不調診断	●正常に作動しないときの点検・処置のしかたを説明しています。修理に出す前に確認してください。
8章 その他	●仕様、および主要消耗部品について説明しています。
9章 電気回路図	●電気回路図を載せています。

目　次

はじめに　1

お願い……1
おことわり……1
説明記号の見方（危険・警告・注意・取扱いの注意）……2
本製品のオーバーホール期限について……2
本製品の使用目的について……2
方向について……2

本文の概要　3

1章　安全に作業をするために必ずお守りください　6

1．作業者の体調・服装について……6
2．使用する機械について……7
3．運転前・作業前点検をするとき……8
4．作業をするとき……11
5．トラックへの積込み・積降しをするとき……17
6．格納をするとき……19
7．安全銘板の貼付け位置……20

2章　保証とサービスについて　21

保証書は大切に保管してください……21
アフターサービスをお受けになるときは……21

3章　各部のなまえと各操作部のはたらき　22

4章　運転と作業のしかた　24

1．運転前の点検……24
2．バッテリの点検、充電のしかた……25
3．発進・旋回・停止のしかた……27
4．作業のしかた……32
5．坂道での運転のしかた……34
6．樹園への出入りのしかた……34
7．トラックへの積込み・積降しのしかた……35

5章 作業後の手入れについて 37

1．作業後の手入れ……37
2．長期間使用しない場合の手入れ……38

6章 手入れと点検・調整について 39

1．定期点検一覧表……40
2．走行ミッションオイルの点検のしかた……41
3．電気配線の点検のしかた……41
4．ヒューズ点検・交換のしかた……42
5．バッテリの点検・整備、交換のしかた……43
6．タイヤ空気圧の調整のしかた……44
7．トーインの点検・調整のしかた……45
8．締付けするところ……46

7章 不調診断 47

1．電源が入らない……47
2．走行しない……48
3．まっすぐ走らない……48
4．停止距離が長くなった……48
5．速度が遅くなった……49
6．稼動時間が短くなった……49
7．充電できない……49

8章 その他 50

1．主要諸元……50
2．主要消耗部品……51

9章 電気回路図 52

1章 安全に作業をするために必ずお守りください

●本機は圃場内の作業を目的としており、小型特殊自動車の型式認定を受けていません。法令により公道走行は禁止されていますのでしないでください。
●ここに記載されている注意項目は、安全に関する重要な内容です。必ず守ってください。
●ここに記載されている注意項目を守らないと死亡を含む傷害事故や機械の破損が生じるおそれがあります。
※ご購入された製品によっては該当しない内容も一部記載していますのでご了承ください。

1．作業者の体調・服装について

⚠警告

■こんなときは運転しない

●過労・病気・薬物の影響、その他の理由により作業に集中できないとき。
●睡眠不足の人。
●視力不足のため表示内容が読めない人。
●取扱説明書の内容が理解できない人。
●酒を飲んだとき。
●妊娠しているとき。
●１８歳未満の人。
●運転が未熟な人。

【守らないと】
思わぬ事故の原因になります。



■作業に適した服装

はち巻き・首巻き・腰タオルは禁止です。ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した、防護具などを付け、だぶつきのない服装をしてください。

【守らないと】
機械に巻込まれたり、滑って転倒するおそれがあります。



■けがへの備え

万一の事故やけがへの準備をしてください。
●救急箱（応急手当用）
●タオルやてぬぐい（止血用）
●呼子や携帯電話（外部との連絡用）

【守らないと】
緊急の応急手当や外部への連絡ができず、症状が悪化するおそれがあります。



2．使用する機械について

⚠注意

■点検、整備をおこなう

使用前と使用後には必ず機械の点検、整備をしてください。特に、走行レバー・ハンドル・前進･後進切換スイッチなどの操縦装置は、確実に作動するように点検、整備をしてください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障を生じるおそれがあります。



■機械を他人に貸すときは

取扱方法をよく説明し、使用前に**「取扱説明書」**を必ず読むように指導してください。

【守らないと】

説明不足により、機械の故障、事故・けがをまねくおそれがあります。



■定期点検、整備を受ける

１年毎に定期点検、整備を受け、各部の保守をしてください。特に電気配線は毎年点検してください。

【守らないと】

整備不良による事故や機械の故障をまねくおそれがあります。



■安全銘板が破損しているときは、新しいものと交換する

本機には、操作安全銘板が貼り付けてあります。内容を十分に理解して、その内容に従ってください。
操作銘板が汚れで読めなくなった場合は、きれいにふき取り、読めるようにしてください。またはがれて紛失した場合などは、販売店に注文し、新しい銘板を貼り付けてください。

【守らないと】

誤った操作により、事故をひきおこす原因になります。



3．運転前・作業前点検をするとき

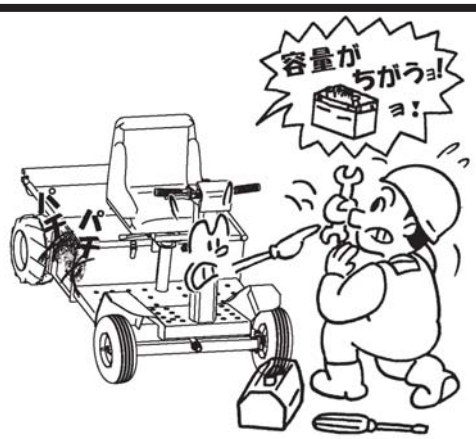
⚠危険

■必ず規定のバッテリを使用

バッテリを交換するときは、必ず規定のバッテリを使用してください。

【守らないと】

火災の原因となることがあります。



■バッテリの点検は火気厳禁

バッテリの点検・充電時は火気厳禁です。

【守らないと】

バッテリに引火し、爆発して火傷などを引きおこすおそれがあります。



■バッテリ液は体につけない

バッテリ液を身体や服につけないようにしてください。
万一付着したときは、すぐに水で洗い流してください。

【守らないと】

火傷をしたり、服が破れるおそれがあります。



■バッテリ取付け、取外しは正しい手順で

バッテリを取付けるときは⊕側を先に取付け、取外すときは⊖側から外します。

【守らないと】

ショートして、火傷や火災事故を引きおこすおそれがあります。



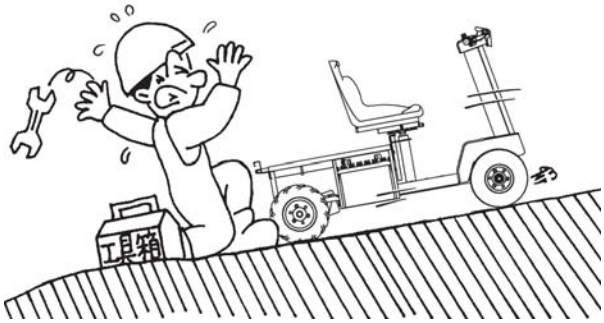
⚠警告

■点検、整備は平坦な安定した場所で

交通の危険がなく、機械が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、タイヤには車止めをして点検、整備をしてください。

【守らないと】

機械が転倒するなど、思わぬ事故をまねくおそれがあります。



■バッテリ液を「下限(LOWER LEVEL)」以下にしない

バッテリ液は「**上限(UPPER LEVEL)**」と「**下限(LOWER LEVEL)**」の間にあることを確認し、「**下限(LOWER LEVEL)**」以下にしないでください。

【守らないと】

「**下限(LOWER LEVEL)**」以下になると、容器内の極板接続部がバッテリ液から露出し、キースイッチ入時に火花が出て、容器内のガスに引火して破裂するおそれがあります。

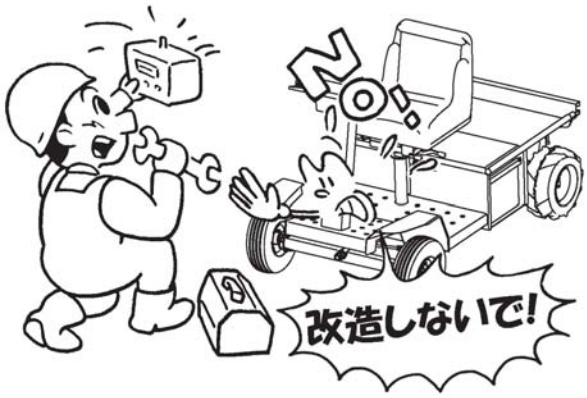


■機械の改造禁止

純正部品以外の部品を取付けないでください。改造をしないでください。

【守らないと】

機械の故障、事故・けがをまねくおそれがあります。



■タイヤは必ず点検

タイヤの空気圧を標準空気圧にしてください。タイヤに亀裂がないか確認してください。

【守らないと】

タイヤがパンクして思わぬ事故をまねくおそれがあります。



⚠警告

■タイヤホイル取付ボルトの締付け確認

タイヤホイルの取付けボルトは、確実に締付けてあるかを確認してください。

【守らないと】

タイヤが外れたりして思わぬ事故をまねくおそれがあります。



■電気部品・コードを必ず確認

配線コードが他の部品に接触していないか、被覆のはがれや接触部のゆるみがないかを毎日作業前に点検してください。

【守らないと】

ショートして火災事故をおこすおそれがあります。



■足回りの草・泥などは取除く

足回りに草や泥が付着すると、タイヤが外れたり切断するおそれがあります。作業前後に取除いてください。

【守らないと】

転倒・転落のおそれがあります。



⚠注意

■ブレーキは必ず点検

ブレーキの効きが悪かったり、ガタや遊びがないか、点検してください。

【守らないと】

事故を引きおこすおそれがあります。



⚠注意

■カバー類は、必ず取付ける

点検、整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてください。

【守らないと】

機械に巻込まれたりして、傷害事故を引きおこすおそれがあります。



■点検、整備をするときは キースイッチを切る

点検、整備をするときや巻付いた草などを取除くときは、必ずキースイッチを**「切」**位置にしてから行ってください。

【守らないと】

何らかの原因で本機が動いて機械に巻込まれたりして傷害事故をおこすおそれがあります。



4．作業をするとき

⚠危険

■後進するときは低速で

後進で移動するときは低速で行い、転倒しないように足元に十分注意し、後方に障害物がないか確認して障害物と機械との間にはさまれないようにしてください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故をまねくおそれがあります。



■傾斜地１０度以上使用禁止

傾斜地での使用限度角度は１０度以内で使用し、運転はしないでください。

【守らないと】

転倒し重大な傷害をまねくおそれがあります。



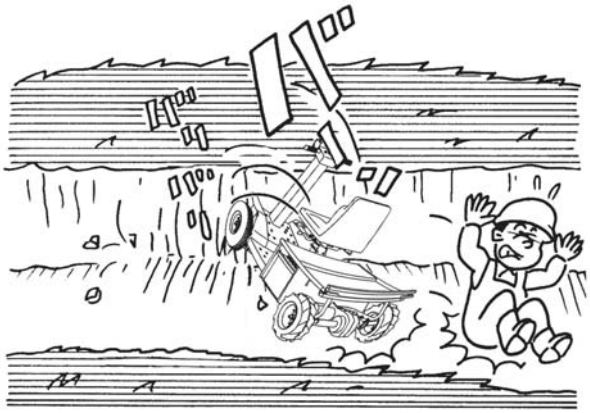
⚠危険

■移動時は路肩に注意

坂道・路肩・障害物乗越え・溝のある場所・軟弱地などでは、十分注意してスピードを落として走行してください。

【守らないと】

転倒・転落などの事故によりけがをするおそれがあります。

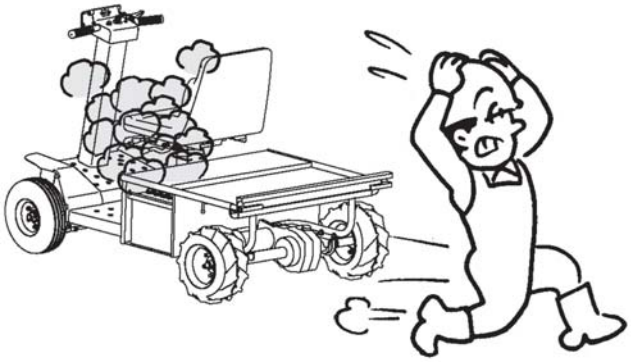


■発火時は、まず身体の安全を確保

バッテリ・電装関係から発火、または発煙したら、まず本機から離れ、身体の安全を確保してください。周囲に類焼しないようにシャベルで砂をかけるか、または消火器で消化してください。

【守らないと】

火傷や火災事故を引きおこすおそれがあります。



■夜間作業禁止

本機を使用しての夜間作業や、暗闇での点検はしないでください。

【守らないと】

本機に巻込まれたり、視界がきかずバランスを崩し、転倒・転落などの事故によりけがをするおそれがあります。



■悪天候、悪路、軟弱地の使用禁止

強風のときや凸凹の多い場所、地面が軟らかい場所では使用しなしでください。

【守らないと】

転倒・転落のおそれがあります。



⚠危険

■過積載禁止

最大作業能力（作業台に乗る作業者の全体重を含む）以内で運転してください。

【守らないと】

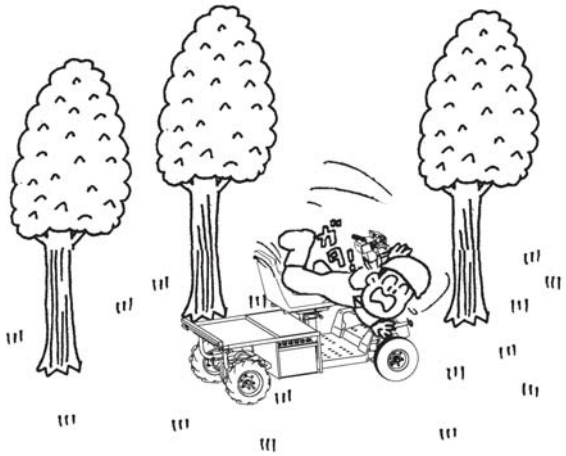
転倒や機械の破損をまねき、思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



■荷台からの乗り出しや、荷物のはみ出し禁止

【守らないと】

転倒・転落事故をおこすおそれがあります。



■積載物を高く積まない

積荷が高くなると機械のバランスが崩れやすく、前方の障害物の確認ができません。積載物は高く積まないでください。コンテナで２段積み、その他は、腰の高さまでとしてください。また積荷はかたよった積み方をしないでください。バランスよく積んでください。

【守らないと】

荷崩れをおこし、転倒・転落事故、機械の破損をまねき、思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



⚠警告

■スタート時（発進)は周囲確認

スタート時（発進)は、レバーの位置と周囲の安全を確認してください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



■人や動物を近づけない

特に子供には十分注意し、近づけないようにしてください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となることがあります。



■周囲に合図してゆっくりと発進

発進時は、必ず周囲の人に合図をしてからキースイッチを「入」位置にして、急発進しないようにゆっくり発進してください。

【守らないと】

思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



■燃えているゴミの上やその近くは走行禁止

【守らないと】

バッテリからのガスに引火し、火災になるおそれがあります。



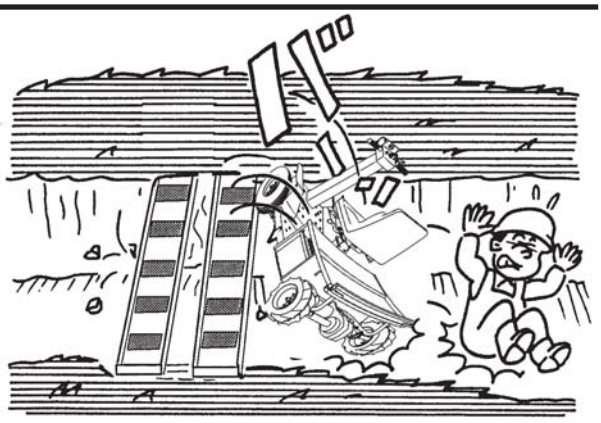
⚠警告

■急坂道・あゆみ板の上では変速禁止

急坂道やあゆみ板の上では、「**前進**」、「**後進**」の低い速度で走行してください。

【守らないと】

機械の重みで坂を下り、事故をおこすおそれがあります。

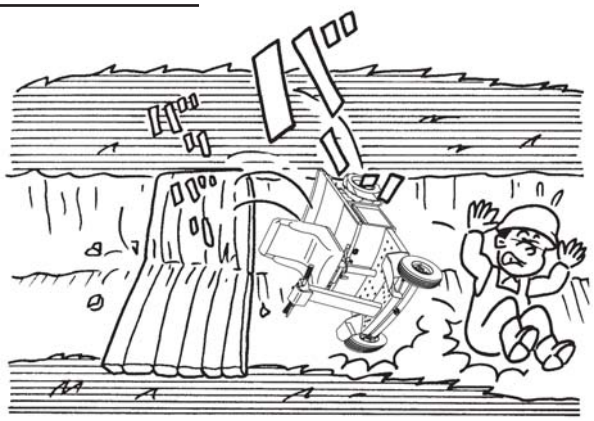


■溝・あぜを渡るときはあゆみ板を使用

樹園に入るとき、溝・あぜを渡るとき、軟弱な場所を通るときは、必ずあゆみ板を使用してください。あゆみ板は、幅・長さ・強度が機械に適したものを使用してください。

【守らないと】

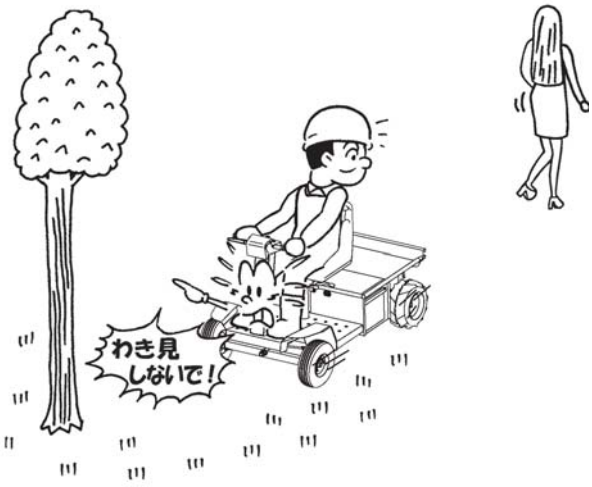
スリップや転倒による事故をまねくおそれがあります。



■わき見運転禁止

【守らないと】

傷害事故の原因となります。



⚠注意

■農用の作業以外は使用禁止

本機は、個人向けの農用電動作業機です。農用の運搬作業や収穫作業以外では使用しないでください。また公道での走行はしないでください。

【守らないと】

機械の破損をまねき、けがなどの思わぬ事故をまねくおそれがあります。



■くわえたばこでの作業厳禁

【守らないと】

火災など、思わぬ事故の原因となります。

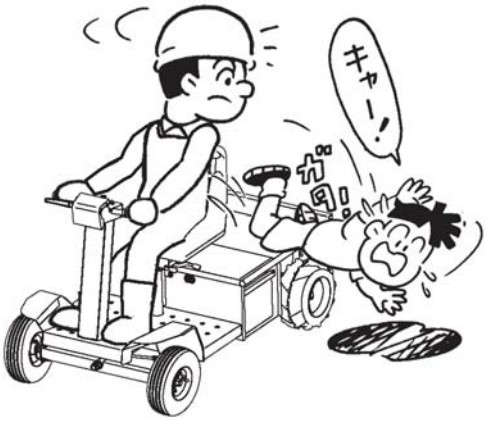


■荷台には乗らない

走行中は荷台に乗って運転したり、人を乗せないでください。

【守らないと】

転落などにより、思わぬ傷害事故の原因となるおそれがあります。



■急な発進・停止・旋回やスピードの出し過ぎ禁止

発進・停止はゆっくりと行ってください。旋回をするときは、十分スピードを落としてください。また、坂道や凸凹道、カーブの多い場所では、十分速度を落としてください。また傾斜地における乗車での移動は絶対にしないでください。

【守らないと】

転倒・転落事故や、機械の破損をおこすおそれがあります。



⚠注意

■機械から離れるときは平坦地に置きキースイッチを切る

機械から離れるときは、平坦で安定した場所に置き、キースイッチを**「切」**位置にしてください。やむを得ず傾斜地に置く場合は、必ず車止めをしてください。

【守らないと】

機械が動きだし、事故の原因となります。



5．トラックへの積込み・積降しをするとき

⚠警告

■強度・長さ・幅の十分あるあゆみ板を使用

積込み・積降しをするときは、平坦で交通の安全な場所に、トラックのエンジンを止め、動かないようにサイドブレーキを掛けて車止めをしてください。使用するあゆみ板は、強度・長さ・幅が十分あり、スリップしないものを選んでください。

【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。

《あゆみ板の基準》

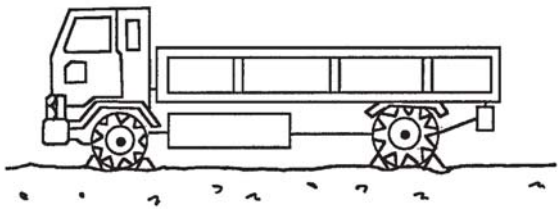
- **●強度**…本機の総重量に十分耐えるもの(１本当たり)
- **●長さ**…トラックの荷台高さの４倍以上
- **●幅**……タイヤ幅の1.5倍以上
- **●表面**…スベリ止めのあるもの
- **●形状**…固定フックのあるもの

■トラックには必ず車止めを

積込むトラックの変速は**「P」**または**「１速」**・**「R」**位置に入れ、サイドブレーキを掛けて車止めをしておいてください。

【守らないと】

トラックが動いて転落事故などをまねくおそれがあります。

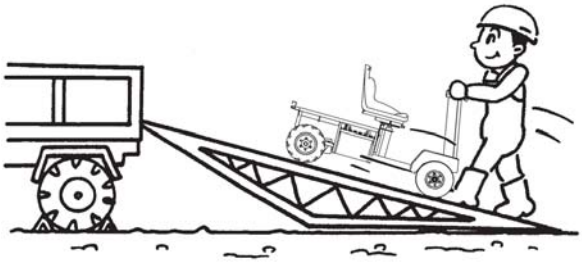


■あゆみ板は確実に掛ける

あゆみ板をそれぞれのタイヤに合わせ、フックをトラックの荷台へ確実に掛けてください。

【守らないと】

あゆみ板が外れて本機が転落・転倒し、死亡事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。



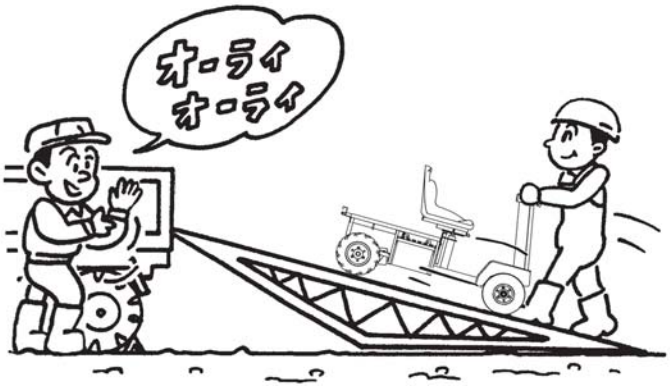
⚠警告

■積込み・積降し作業は誘導者をつけて

トラックなどからの積込み・積降し作業は、誘導者を付けて、周囲の安全を十分確認してください。

【守らないと】

転落などの事故をまねくおそれがあります。



■積込み・積降し作業中、機械の前には絶対立たない

トラックなどからの積込み・積降し作業中は、機械の直前には絶対に立たないでください。

【守らないと】

傷害事故をまねくおそれがあります。

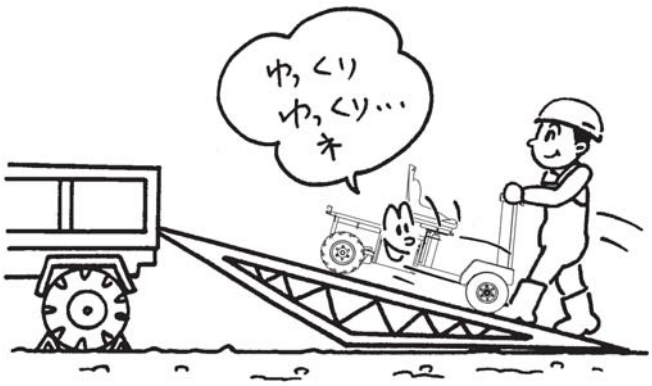


■積込み・積降し作業は歩行運転でおこなう

積込みの場合は「**前進(前進・後進切換スイッチは後進)**」、積降しの場合は「**後進(前進・後進切換スイッチは前進)**」の低速で行ってください。あゆみ板とトラックの荷台の継目を越えるときは、急に重心が変わりますので注意して走行してください。運転はしないでください。

【守らないと】

バランスを崩し転落などの事故を引きおこすおそれがあります。

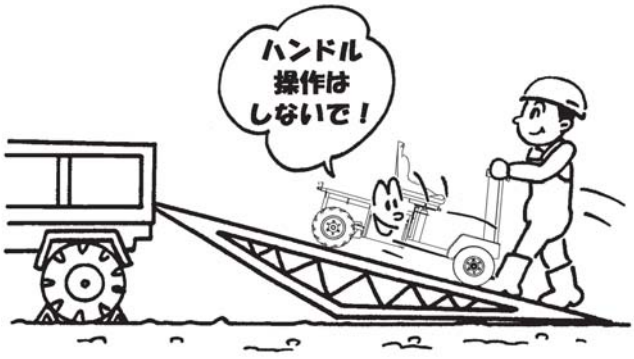


■あゆみ板の上ではハンドル操作厳禁

あゆみ板の上で進路変更をすることがないように前もって進路を定めて最低速度で行ってください。進路を変えるための、ハンドル操作は絶対にしないでください。方向を直す場合は、平坦な場所に戻ってから行ってください。

【守らないと】

転落などの事故の原因となります。



⚠警告

■ロープでトラックに確実に固定

トラックに載せて移動するときは、本機のキースイッチを**「切」位置**にしてから動かないように車止めをしてください。荷台は、最下位置にし、荷物は積まない状態で、強度の十分あるロープでトラックに本機を確実に固定してください。

【守らないと】

トラックから本機が転落したりして、事故をまねくおそれがあります。



6．格納をするとき

⚠警告

■長期格納時はキーを外す

長期間使用しないで格納する場合は、キーを抜取り保管してください。

【守らないと】

事故を引きおこすおそれがあります。



⚠注意

■機械の近くに可燃物を置かない

機械を格納するときは、乾燥した屋内に置き、必ず車止めをしてシートなどを本機全体に掛けてください。近くに燃えやすい物がないか、また、燃えやすい物があれば取除いてください。

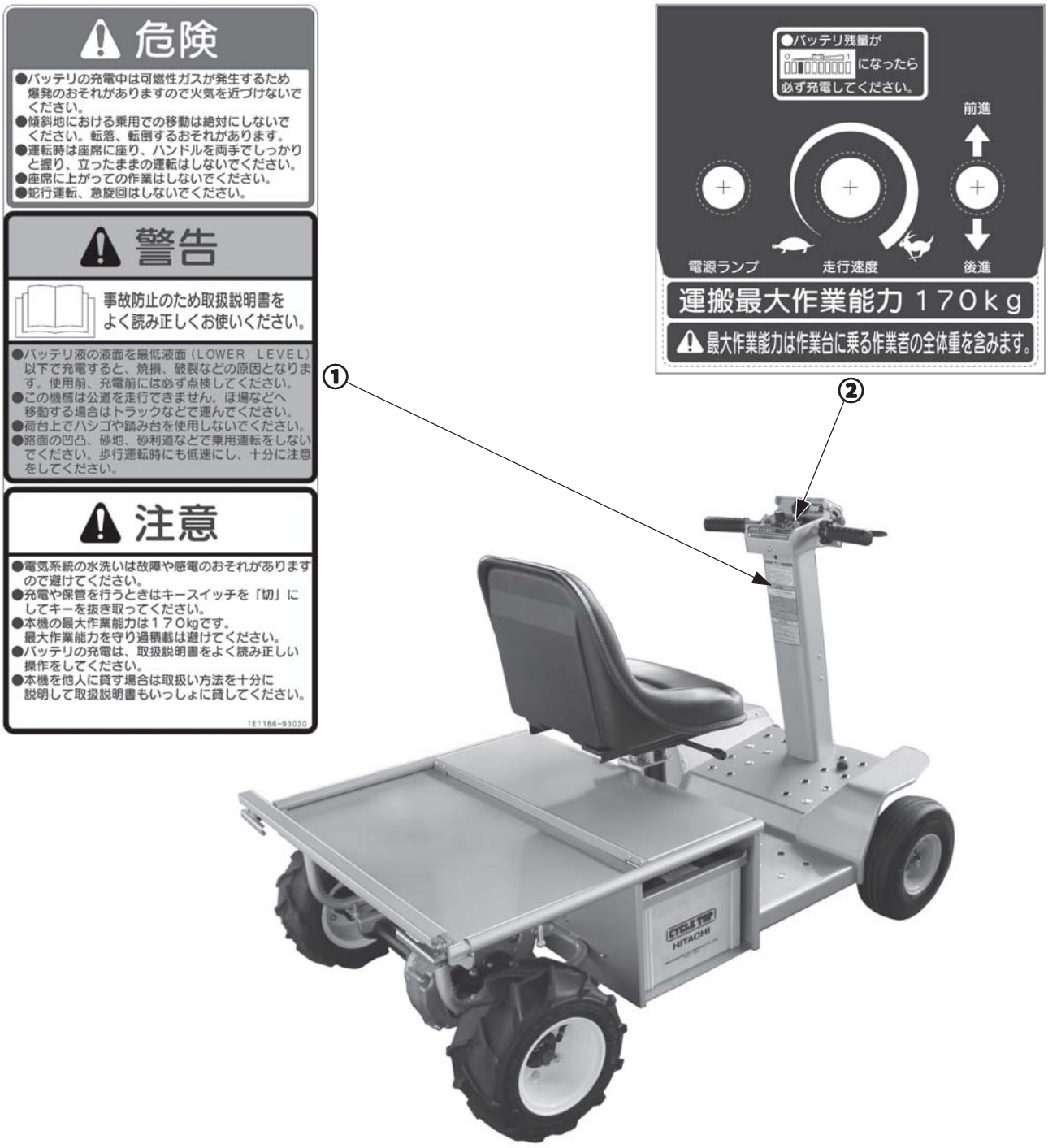
【守らないと】

機械が動きだしたり、火災事故を引きおこすことがあります。



7．安全銘板の貼付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の貼付け位置を示したものです。
安全銘板は常に汚れや破損がないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。



№	部品番号	品名
1	１Ｅ１１８６-９３０３０	バッテリ安全銘板
2	１Ｅ１１８６-９３０２０	操作銘板

保証書は大切に保管してください

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスをお受けになるときは

機械の調子が悪いときに点検・処置をしても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にして、お買上げいただいた販売店・ＪＡまでご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- ●型式名と製造番号
- ●ご使用状況は？
  （何速で、どんな作業をしていたときに）
- ●どのくらい使用されましたか？
  （約□□□時間使用後）
- ●不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。



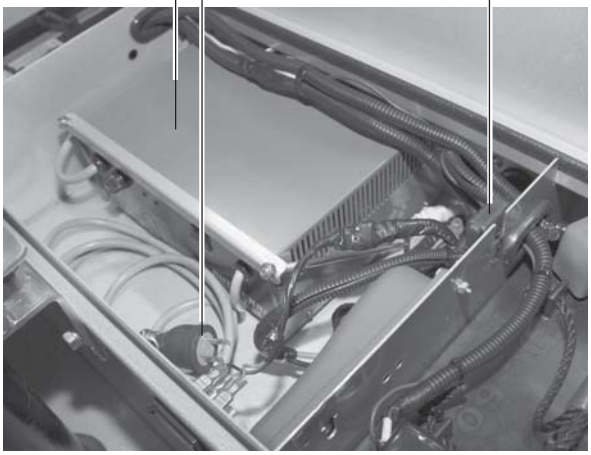
〈補修部品の供給年限について〉

この製品の補修用部品の供給年限（期間)は、製造打ち切り後９年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

●充電器

●電源プラグ
充電するときに使います。(100 V電源)

●ヒューズボックス



●電源ボックス

●荷台



●タイヤ

●バッテリ
左右に２つあります。

●フットスイッチ
走行するときに使用します。

●ハンドル

●電源ランプ
キースイッチが「入」位置で点灯します。

●バッテリ残量計
バッテリの充電残量を表示しています。

●走行速度調整ダイヤル
速度の調整をするときに使用します。

●前進･後進切換スイッチ
前進・後進の切換えに使用します。

●キースイッチ
走行・荷台乗降用の電源を「入」･「切」するために使用します。

●走行レバー
走行するときに使用します。



●バケット
積載量3kg以内の荷物を載せるときに使います。

●座席

●ステップ
荷台に乗ったり降りたりするときに使います。

●アワーメータ
点検、部品交換時に、この時間を目安にします。



1．運転前の点検

⚠危険

●点検、整備を行うときは、キースイッチを「切」位置にしてください。守らないと、思わぬけがをするおそれがあります。

⚠警告

●点検、整備は、交通の危険がなく機械が倒れたり動いたりしない平坦で安定した場所に車止めをした上で行ってください。守らないと、思わぬけがをするおそれがあります。

⚠注意

●点検、整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてください。守らないと機械に巻込まれて、傷害事故をおこすおそれがあります。

安全で快適な作業を行うには、本機を使用する前に必ず始業点検を行い、異常箇所は直ちに整備してから作業を始めてください。また、作業終了時も点検を行って異常がないかチェックしてください。

点検は次の順序で行ってください。

①前日の異常箇所

●前日の作業中に異常を感じたところがあれば作業に支障がないか点検します。

②本機のまわりを回ってみて

●各部の変形・損傷・汚れ

●走行ミッションオイルの油もれ ……41

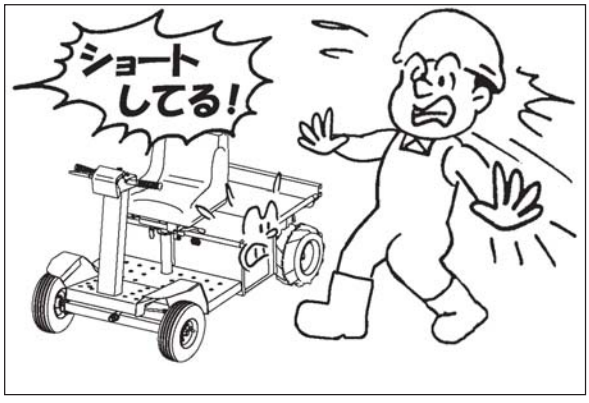
●タイヤの空気圧･損傷・亀裂 ……44



●タイヤホイル取付けボルト・ナットのゆるみ ……46

●機体各部の損傷、ボルトのゆるみ ……46

●配線コードの被覆のはがれや接続部のゆるみ ……41

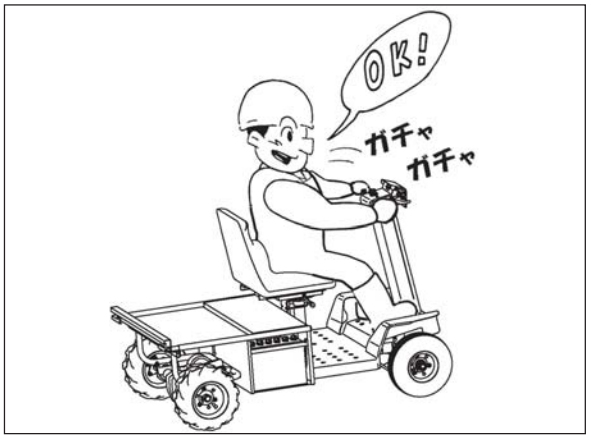


●バッテリ液の量　……43



③レバーを操作してみて

●各レバー・スイッチの作動状態



④走行してみて

●走行中の異音

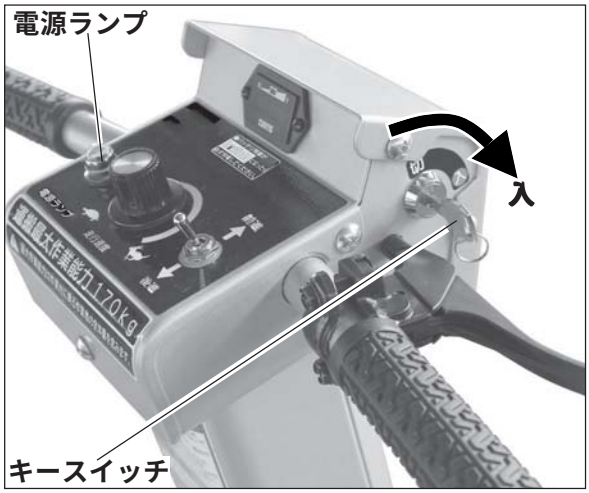
2．バッテリの点検、充電のしかた

⚠危険

●バッテリの充電中は、可燃性のガスが発生しますので、換気を行い、火気を近づけないでください。守らないと引火爆発し、火傷を負うおそれがあります。万一、引火した場合、火災のおそれがあります。

点検

①キースイッチを「入」位置にするとバッテリ残量計と電源ランプが点灯します。



②バッテリ残量計で充電残量を調べ、不足(左から３つ目以下)している場合は、充電してください。

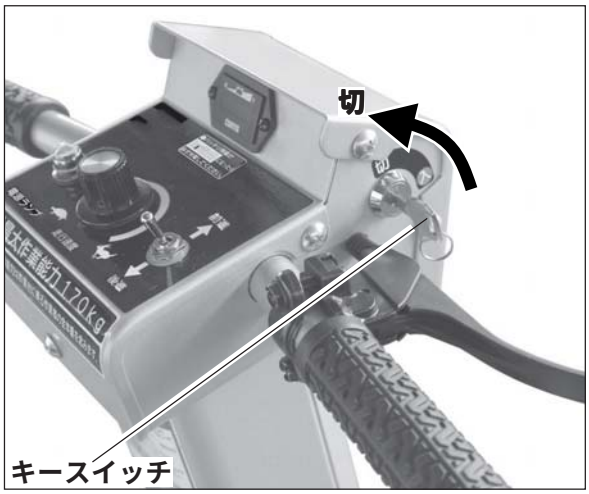


取扱いの注意

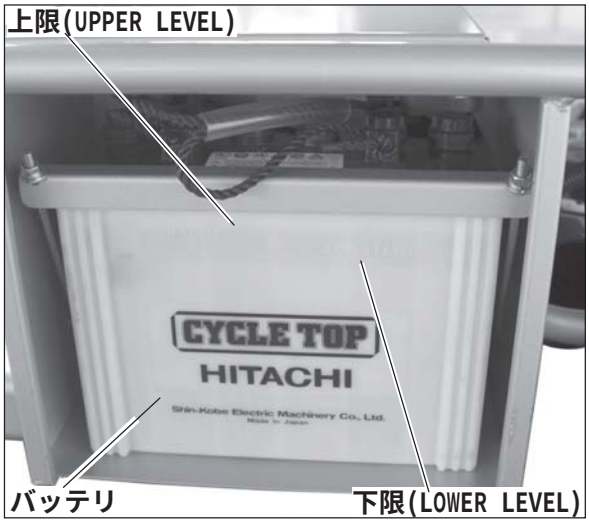
●バッテリを長持ちさせるために、こまめにバッテリを充電してください。

充電のしかた

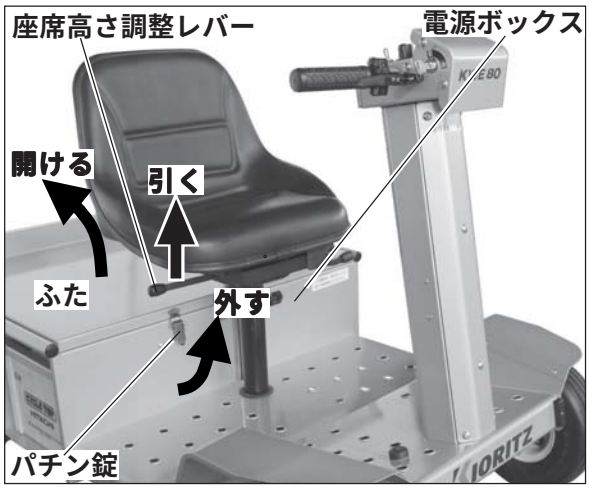
①キースイッチを「切」位置にします。



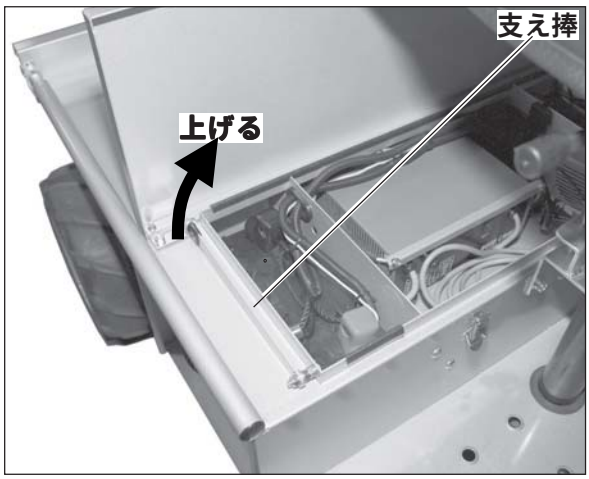
②左右のバッテリのバッテリ液の量を確認してください。少なければ補充をしてください。
（43ページ参照）



③座席右下の座席高さ調整レバーを上に引いて、座席を上げ、電源ボックスのパチン錠を外して電源ボックスのふたを開けます。



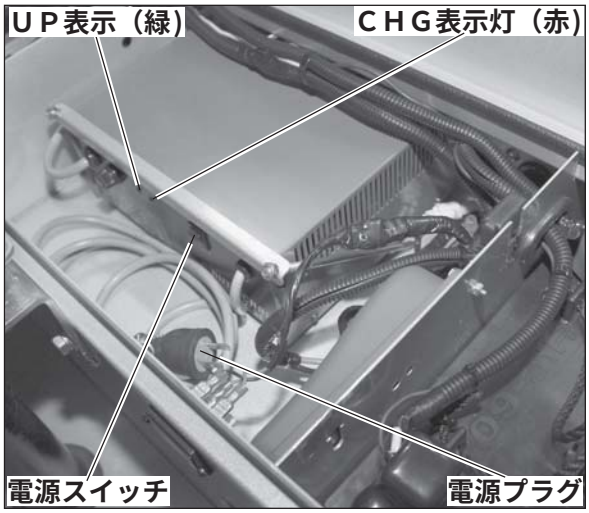
④支え捧を外して、持上げカバーを下げて支え棒をセットします。





⑤充電器の電源スイッチが「ＯＦＦ」になっている事を確認してください。

⑥電源プラグを引出し、家庭用ＡＣ100Ｖコンセントに差込みます。



⑦充電器の電源スイッチを「ＯＮ」にします。このときＣＨＧ表示灯（赤)が点灯することを確認してください。

⑧満充電が近づくとＵＰ表示（緑）が点灯します。充電が完了するとＣＨＧ表示(赤)が消灯し、充電を停止します。

《充電中の表示状態》

① 充電中　緑○（消灯）　赤●（点灯）
（充電を開始します。）
↓
② 略充電中　緑●（点灯）　赤●（点灯）
（80%の充電状態です。）
↓
③ 満充電完了　緑●（点灯）　赤○（消灯）
（充電を停止します。）

⑨電源スイッチを「ＯＦＦ」にし、充電器の電源プラグをコンセントから抜き、電源ボックスに納め、電源ボックスのふたを閉めパチン錠を掛けてください。

３．発進・旋回・停止のしかた

⚠危険

●発進・停止はゆっくりと行ってください。旋回するときは、十分にスピードを落としてください。また坂道・路肩・凸凹道やカーブの多い場所では、十分に速度を落としてください。思わぬ事故の原因となります。

●急傾斜地での斜め走行はしないでください。横転して事故をまねくおそれがあります。

●後進時は、後方に十分注意してください。転倒などにより、けがをするおそれがあります。

●本機を利用して夜間作業は、しないでください。視界がきかず、バランスを崩し転落、転倒などの事故により、けがをするおそれがあります。

●運転をするときは、必ず座席を下げて座り、ハンドルをしっかり握って運転してください。座席を高くしたり、立ったまま運転をしないでください。転落、転倒などの事故により、けがをするおそれがあります。

⚠警告

●発進するときは、各スイッチ の位置と人や動物を近づけないよう必ず周囲の安全を確認して発進してください。守らないと思わぬ事故、けがをまねくおそれがあります。

●本機を使用しないときは、必ずキーを抜いて安全な場所にキーを保管してください。守らないと児童などが操作し事故をおこすおそれがあります。

●急な下り坂では、ハンドルの操作をしないでください。思わぬ方向に機械が旋回して転落などの事故をまねくおそれがあります。

●路面の凸凹、砂地、砂利道などで運転をしないでください。歩行運転の低速で十分注意をして走行してください。転倒・転落などの事故をまねくおそれがあります。

⚠注意

●機械を使う前と後には、必ず点検、整備をしてください。特に走行レバー・前進･後進切換スイッチなどの操縦装置は、確実に作動するように点検、整備をしてください。守らないと、傷害事故をおこしたり、機械の故障をまねくおそれがあります。

●本機は、小型特殊自動車の型式認定を受けていません。法令により公道走行は禁止されていますのでしないでください。

●本機から離れるときは、平坦で堅固な安定した場所に置き、必ずキースイッチを**「切」**位置にし、車止めをしてください。守らないと本機が動きだし、事故をおこすおそれがあります。

座席の合わせかた

身体に合せて座席の前後の位置を調整をしてください。座席左下の座席スライドレバーを上に引き、座席を希望の位置にスライドさせて位置を決めてくいださい。



※スライド部は定期的に注油をしてください。錆付きを防止します。

取扱いの注意

●走行中は座席を下げて走行してください。転倒・転落などによりけがをするおそれがあいります。

発進のしかた

⚠警告

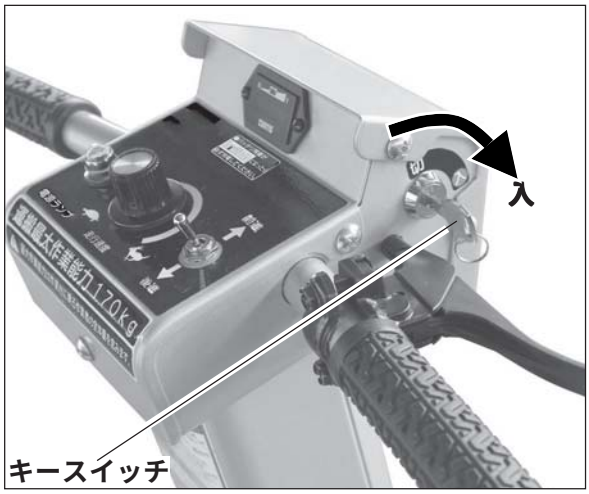
●急坂道やあゆみ板の上では、低い速度で走行し、途中での変速はしないでください。暴走して事故をおこすおそれがあります。

●後進する場合、走行速度調整ダイヤルを**低速側**にし、十分注意し、ゆっくり走行してください。

①走行速度調整ダイヤルを一番左（最低速)まで回します。



②キースイッチを**「入」**位置にします。



③前進･後進切換スイッチを**「前進」**位置、または**「後進」**位置にします。

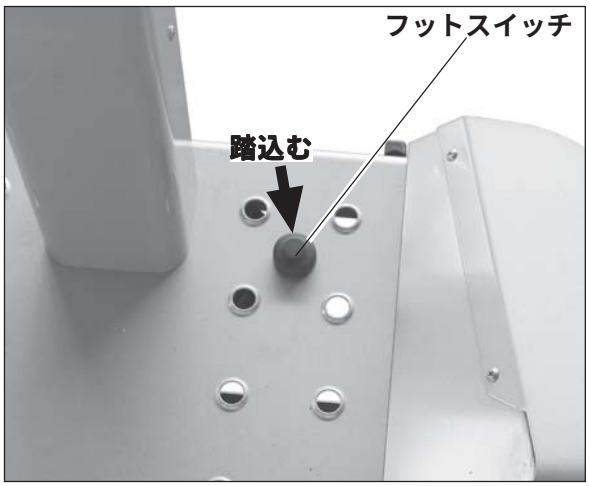


取扱いの注意

●走行中に前進･後進切換スイッチを操作しないでください。必ず停止してから操作してください。故障の原因になります。

④フットスイッチを踏込みます。

※フットスイッチを踏むと「ピー、ピー」と音が鳴りはじめ、走行できる状態を知らせ、放すと音が止まります。



※走行中は、フットスイッチを踏み続けてください。放すと停止します。

⑤走行レバーをゆっくり握ります。



※走行レバーでも速度調整ができます。

⑥走行速度調整ダイヤルを徐々に回してゆっくり発進してから、希望の速度に調整してください。



※走行中にミッション・モータから異音がする場合は直ちに運転を中止し、販売店・ＪＡに相談してください。

取扱いの注意

●走行速度調整ダイヤルは低速側から徐々に回してゆっくり発進してください。高速側からの発進は急発進をして大変危険です。必ず、走行レバーを握ってから希望の速度にゆっくり回してください。

●走行レバーを握っても機体はすぐには発進しませんが故障ではありません。

●坂道やぬかるみなどを走行中、回路内に大きな電流が流れたりした場合、サーキットブレーカが作動して、走行を停止することがありますが、しばらくすると復帰します。その場合、荷物を軽くしたりしてモータに負荷を掛けないようにしてから、再スタートしてください。

旋回のしかた

安全を確認してから、前進のときは、旋回したい側にハンドルを回すと旋回します。後進のときは、旋回したい反対側にハンドルを振って旋回します。

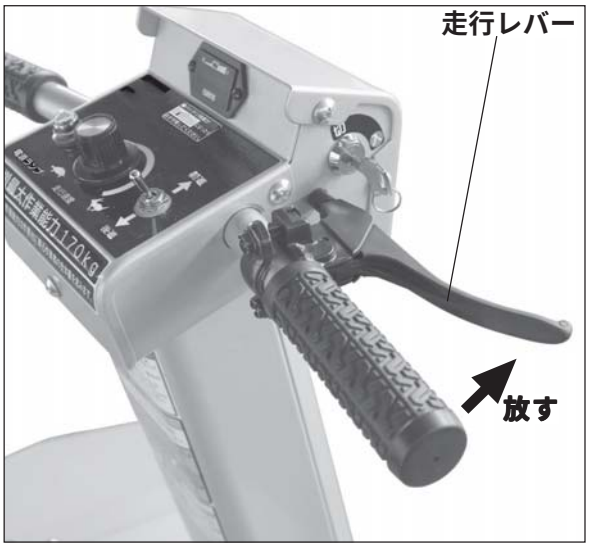


停止のしかた

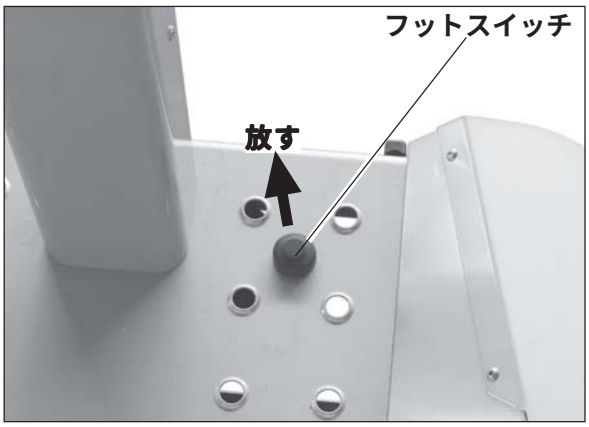
①走行速度調整ダイヤルを**「最低速」**にします。



②走行レバーをゆっくり放し、停止させます。

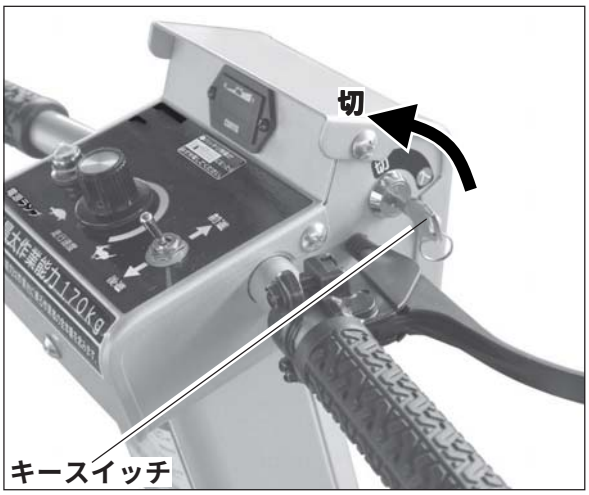


③フットスイッチを放します。



※緊急に走行を停止させたいときに、フットスイッチから足を放すと機体が停止します。

④キースイッチを**「切」**位置にします。



※運搬作業や収穫作業終了後は、必ずキースイッチを「切」位置にしてください。バッテリが放電します。電源ランプはキースイッチの切り忘れ防止のためのランプです。

※ブレーキの効きが悪くなったり、ブレーキ部から異音がでたりする場合は、お近くの販売店・ＪＡに相談してください。

故障やバッテリがあがった場合

故障やバッテリがあがったときなど走行できなくなった場合、次の要領で本機を動かしてください。

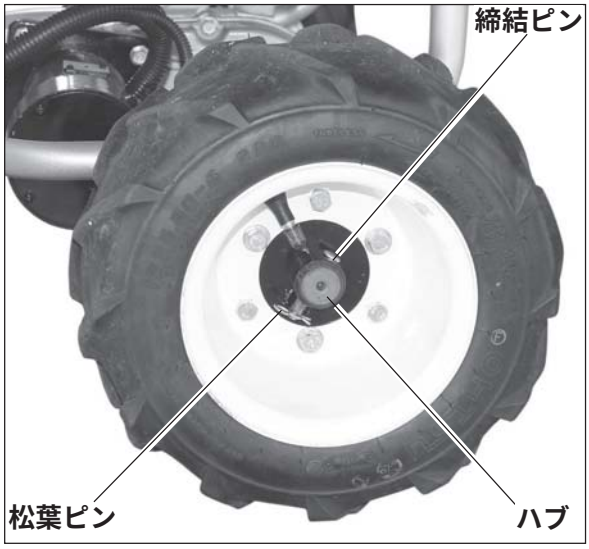
①駆動側の左右どちらか一方のタイヤのハブの締結ピンを止めてある松葉ピンを抜きます。

②締結ピンをハブから引き抜きます。



③手で押して本機を動かしてください。

④移動後は、締結ピンと松葉ピンを元通りに確実に取付けてください。



取扱いの注意

●緊急時以外は、締結ピンを抜かないでください。ブレーキが効きません。特に傾斜地では絶対に締結ピンを抜かないでください。抜いたまま走ると事故をおこすおそれがあります。

駐車のしかた

⚠注意

●駐車するときは、平坦で堅固な場所に止めてください。やむを得ず傾斜地に置く場合は、必ず車止めをしてください。

4．作業のしかた

⚠危険

●積載物は荷台からはみ出さないようにしてください。荷崩れをおこし転倒・転落事故をおこすおそれがあります。

●最大作業能力（運搬時170kg荷台に乗る作業者の全体重を含む）以上は荷物を積まないでください。転倒や機械が破損して思わぬ事故をおこすおそれがあります。

●積荷が高くなると機械のバランスが崩れやすく、また障害物の確認ができません。積荷は高く積まないでください。コンテナで２段積み、その他は腰の高さまでとしてください。また積荷はかたよった積み方をしないでください。バランスよく積んでください。荷崩れをおこし、転倒・転落により思わぬ傷害事故の原因となります。

●傾斜地での使用限度角度は１０度以内で使用してください。守らないと、転倒し重大な傷害をまねくおそれがあります。

⚠警告

●積載物は確実にロープを掛けて固定してください。荷崩れをおこし転倒・転落事故をおこすおそれがあります。

●坂道では積荷の重量を軽くして、安全に走行してください。

●坂道では荷物の積込み、積降しはしないでください。本機の前後バランスが崩れたり、荷崩れをおこし、思わぬ傷害事故の原因になるおそれがあります。

⚠注意

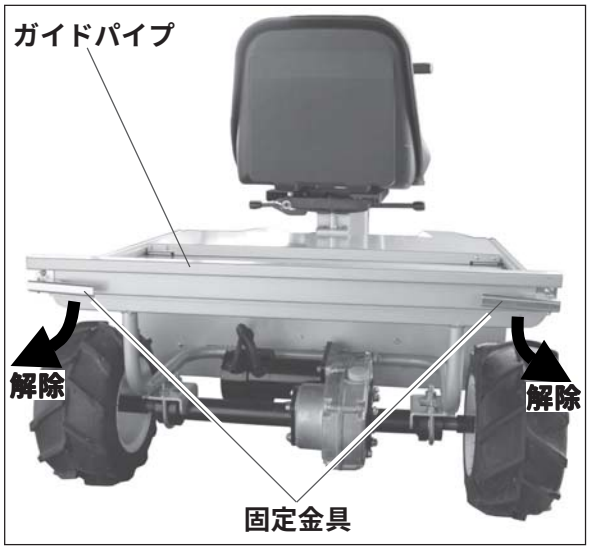
●荷台には人を乗せないでください。転落などにより、思わぬ傷害事故の原因になるおそれがあります。

●作業中、木や枝などにはさまれないように注意してください。

ガイドパイプの操作のしかた

荷物を積込むときにガイドパイプを広げると便利です。

①荷台ガイドパイプの、左右の固定金具を解除します。

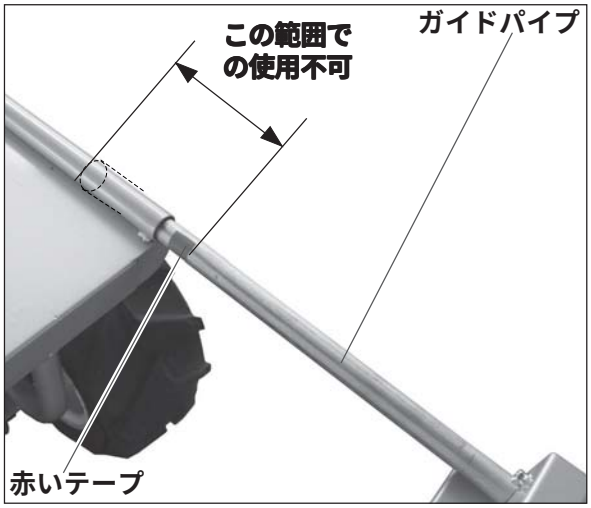


②ガイドパイプを引出し、固定金具でロックします。



取扱いの注意

●ガイドパイプは、引出し過ぎると固定金具でのロックができなくなり危険です。
引出して使用する場合は、赤いテープが見えてきたら引き出し過ぎです。テープが見えない位置まで入れて確実に固定金具でロックして作業をしてください。



取扱いの注意

●ガイドパイプの上に人が乗ったり、荷物を載せたりしないでください。転落や荷物の落下で事故につながります。

座席の使いかた

作業中に座席の高さと、座席を４５度毎に回転させながら座った状態で作業をする事ができます。

①座席固定レバーの握りを上に引いて希望の角度に座席を回転させ、レバーを放して座席を固定させます。

②座席右下の座席高さ調整レバーを上に引き、高さを調整してください。



③作業が終了したら座席を低くし、正面に戻してください。

５．坂道での運転のしかた

⚠警告

●坂道では、適正な速度で走行してください。

●坂道では、前進･後進切換スイッチを操作しないでください。坂を登りつめてから操作してください。

●坂道では駐車をしないでください。守らないと本機が坂をすべり落ちて、事故をおこすおそれがあります。

●坂道では、スピードに十分注意して、ゆっくりと走行し、急な下り坂では走行速度調整ダイヤルを低速側にしてください。

●上り坂で発進する場合は、走行速度調整ダイヤルを低速にしてゆっくり発進してください。急発進すると、前側がはね上がり大変危険です。

６．樹園への出入りのしかた

⚠警告

●樹園への出入り、あぜ越えや段差を乗り越えるときは、十分強度のあるあゆみ板を使用し、荷物は積まないで、重心を低くしてください。

●急な傾斜は、登る場合は**「前進」**で、下る場合は**「後進」**の低い速度でゆっくり行ってください。

取扱いの注意

●樹園への出入りは、樹園にたいして直角に出入りしてください。

7．トラックへの積込み・積降しのしかた

⚠警告

●積込み、積降しの場所は、交通の安全が確保でき、平坦で安定した場所を選んでください。思わぬ事故やけがをまねくおそれがあります。

●トラックはエンジンを止め、動かないようにサイドブレーキを掛け、「車止め」をしてください。

●使用するあゆみ板は、幅、長さ、強度が十分あるスリップしないものを選び、あゆみ板が外れないように、フックをトラックの荷台にしっかり掛けてください。

●荷物は積まないでください。

●本機に乗っての運転は厳禁です。

●誘導者は、機械の直前に立たないでください。機体が不意に動いたときに思わぬ事故やけがをまねくおそれがあります。

●トラックへの積込み、積降しは、あゆみ板の上で進路変更をすることがないように進路を定めて最低速度で行ってください。進路を変えるためのハンドルの操作は絶対にしないでください。守らないと転落などの事故をおこすおそれがあります。

●歩行運転で積込みは「前進(前進・後進切換スイッチは後進)」、積降しは「後進(前進・後進切換スイッチは前進)」で、走行速度調整ダイヤルは「低速側」にし、ゆっくりと行ってください。守らないと転倒・転落による事故やけがをまねくおそれがあります。

●本機があゆみ板とトラックなどの継目を越えるときには、急に重心が変わりますので、十分に注意してください。転倒・転落による事故やけがをまねくおそれがあります。

●トラックなどに積んで移動するときは、荷台は、必ず最下位置にし、荷物は積まないで、十分強度のあるロープを使用し、確実に固定し、さらに「車止め」をしてください。守らないと、機械の転落や、運転席への突込みによる重大な事故やけがをまねくおそれがあります。

あゆみ板の取付けかた

①周囲に危険物のない、平坦な場所を選びます。

②基準に合ったあゆみ板を用意します。

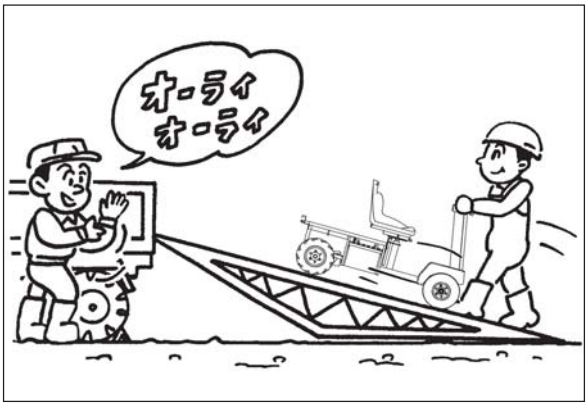
《あゆみ板の基準》

あゆみ板は、基準にあった十分強度のあるものをご使用ください。
●長さ…トラックの荷台高さの4倍以上。
●幅……本機のタイヤ幅の1.5倍以上。
●強度…本機の総重量に十分耐えられるもの。
(1本当たり)
●表面…すべり止めのあるもの。
●形状…固定フックのあるもの。

③あゆみ板のフックを、トラック荷台と段差のないように確実に掛けてください。

④左右のタイヤがあゆみ板の中央に位置するように、本機をセットしてから積込み、積降しを行ってください。

⑤歩行運転で積込みの場合は「**前進(前進・後進切換スイッチは後進)**」で、積降しの場合は「**後進(前進・後進切換スイッチは前進)**」の低い速度で行ってください。



積込み･積降しのしかた

⚠警告

●トラックへの積込み・積降しは必ず歩行運転で行ってください。その場合、前進･後進切換スイッチの表示が乗車運転とは逆になりますので、注意して操作してください。

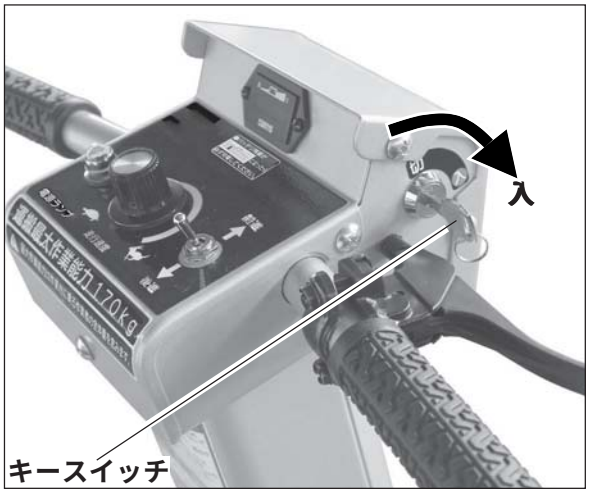
積込み･積降しは次の要領で行ってください。

①本機のハンドルの前側の乗用・歩行運転切換スイッチを**「歩行運転」**位置にします。



②キースイッチを**「入」**位置にします。

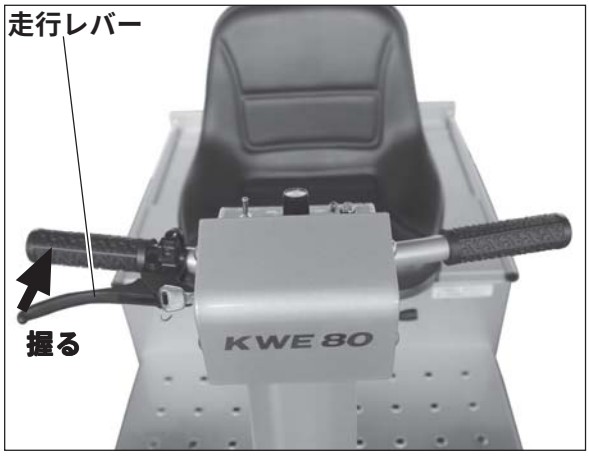
※「ピー、ピー」と音が鳴りはじめ、走行できる状態を知らせます。



③前進･後進切換スイッチを**「後進」**位置にします。



④走行レバーをゆっくり握ります。



⑤走行速度調整ダイヤルを徐々に回してゆっくり発進してから、希望の速度に調整してください。



※積降しは、必ず歩行運転で前進･後進切換スイッチを「前進」位置で、走行速度調整ダイヤルは「低速側」にし、積込みの要領で、ゆっくり行ってください。

5章 作業後の手入れについて

⚠警告

●お手入れは、平坦な安定した場所で行ってください。守らないと機械が転倒して、思わぬけがをするおそれがあります。

●格納時は平坦で安定した場所に置いてください。やむを得ず傾斜地に置く場合は必ず「車止め」をしてください。本機が自然に動いて事故になります。

⚠注意

●お手入れは、キースイッチを「切」位置にしてから行ってください。守らないと思わぬけがをするおそれがあります。

●近くに燃えやすいものがあれば取除いてください。火災の原因になります。

1．作業後の手入れ

その日の内に乾いたブラシなどで、異物やゴミなどを落としてから、よく絞った濡れ雑巾などで汚れをふき取り、各回転・摺動部に油をたっぷり差してください。

取扱いの注意

●本機は水洗いをしないでください。電装品に水が掛かると故障の原因となります。

2．長期間使用しない場合の手入れ

⚠危険

●バッテリ充電中は、ガスが発生しますので風通しの良い場所で行ってください。

⚠注意

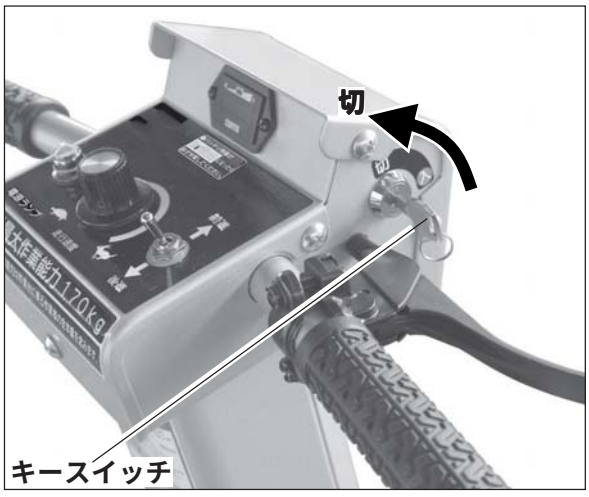
●格納する場合は、キースイッチを「切」位置にし、キーは抜取って、屋内に格納してください。

①タイヤに付着した泥や異物などは取除き、タイヤの下には板を敷いてから格納してください。

②外部の錆びやすい部分に、防錆油または、グリスを塗ってください。

③乾燥した風通しの良い所で保管してください。

④キースイッチは「切」位置にし、キーは抜取り保管してください。



⑤バッテリは完全充電してください。

取扱いの注意

●バッテリは使わなくても自然放電します。１ヶ月に１度は完全充電してください。
（P 26参照）

●本機は屋外に放置しないでください。電気部品の故障の原因になります。

6章 手入れと点検・調整について

⚠警告

●点検、整備は交通の危険がなく、本機が倒れたり動いたりしない平坦な安定した場所で、タイヤに車止めをして行ってください。守らないと、転倒などの事故をおこすおそれがあります。

⚠注意

●１年毎に定期点検、整備を受け、各部の保守をしてください。特に電気配線は毎年点検してください。守らないと、整備不良による事故や機械の故障をまねくおそれがあります。

●点検、整備などで取外したカバー類は、必ず取付けてから作動確認をしてください。衣類などが巻込まれて危険です。

定期点検や整備は、シーズンオフに行いますとシーズン中に機械の性能が十分に発揮され、安全で快適な作業が行えます。機械の整備不良による事故を未然に防止するために、１年毎に販売店・ＪＡで定期点検、整備を受け、各部の安全を確認してください。特に電気配線は毎年点検するようにして、常に機械を最良の状態で安心して作業が行えるようにしてください。

１．定期点検一覧表

点検項目		点検時期		内容	参照ページ
		始業前	ｼｰｽﾞﾝ初め		
電装品	バッテリ液量	○	○	バッテリ液が上限(UPPER LEVEL)と下限(LOWER LEVEL)の範囲内にあるか確認	２５
	バッテリ残量計	○	○	点灯の確認	２５
	充電機		○	充電時の動作確認	２５
	配線の断線、接続部のゆるみ	○	○	配線部や接続部に異常がないか確認	４１
	ヒューズ切れ	○	○	ヒューズが切れてないか確認（２ヶ所)	４２
	走行レバーの作動	○	○	発進、停止の確認	２８
	前進･後進切換スイッチの作動	○	○	進行方向の確認	２８
	乗用･歩行運転切換スイッチの作動	○	○	走行操作の確認	３６
タイヤ	空気圧	○	○	前輪350kPa・後輪120kPa	４４
	亀裂および損傷	○	○	タイヤに釘等が刺さっていないか、亀裂がないか確認	４４
	タイヤホイル取付ボルトの締付	○		取付ボルトがゆるんでいないか確認	４６
モータ付ミッション	オイル漏れ、オイル量	○	○	ＳＡＥ10W-30（0.65L)	４１
	連結ピン、Ｒピンの異常	○	○	連結ピン・Ｒピンが脱落していないか確認	３１
	走行時の異音	○	○	ミッション・モータから異常な音がないか確認	２９
	ブレーキの効き具合	○	○	その場に止まることの確認	３１
ハンドル	操向時の異音	○	○	ハンドルを操作したときに遊びや異常なガタがないか確認	－
座席	座席スライドレバー	○	○	摺動部に注油	２８
	座席固定レバー	○	○	固定金具の不具合	３３
	座席高さ調整レバー	○	○	高さの調整ができるか確認	２８
フレーム	腐食、破損		○	フレーム、足まわりなどに腐食や破損がないか確認	－

２．走行ミッションオイルの点検・交換のしかた

走行ミッションオイルは500時間をめどに交換してください。古くなったオイルは、機械の性能を落とすだけでなく、故障の原因にもなります。定期的に古いオイルを抜取り、新しいオイルを規定量給油してください。

取扱いの注意

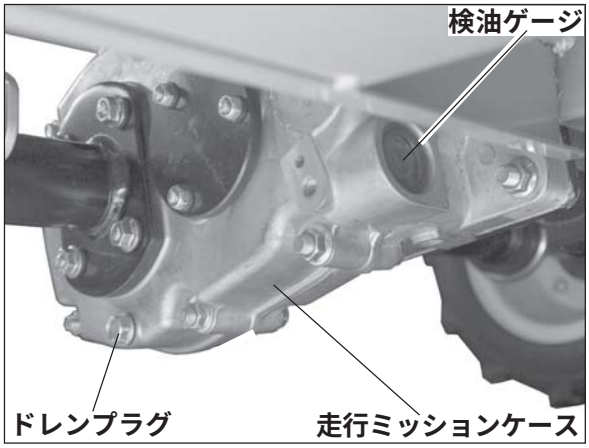
●オイル交換で出た廃油は、絶対に河川や下水道などに流さないでください。河川や下水道に捨てたり放置しておくと、環境汚染につながります。廃油の処分は、販売店・ＪＡに相談してください。

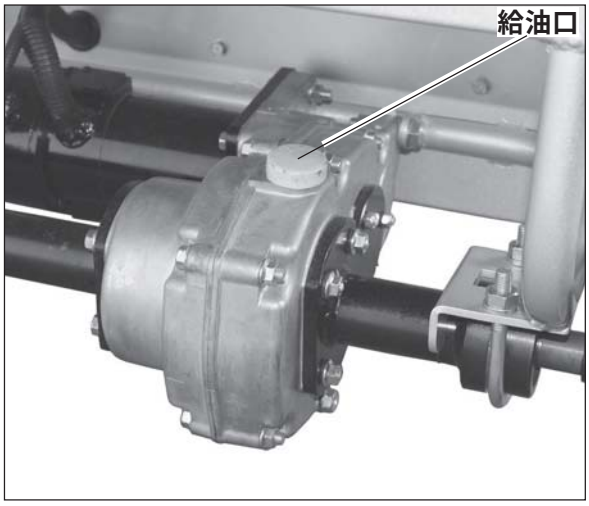
点検

油もれのないことを調べてください。

交換

走行ミッションケース下部にあるドレンプラグを外して、汚れたオイルを流し出し、こぼさないように容器に受けてください。給油は、検油ゲージの中央まで（0.65L）入れてください。





３．電気配線の点検のしかた

⚠注意

●配線コードに付着しているわらくずやゴミは、作業前後にきれいに取除いてください。守らないと、火災の原因となることがあります。

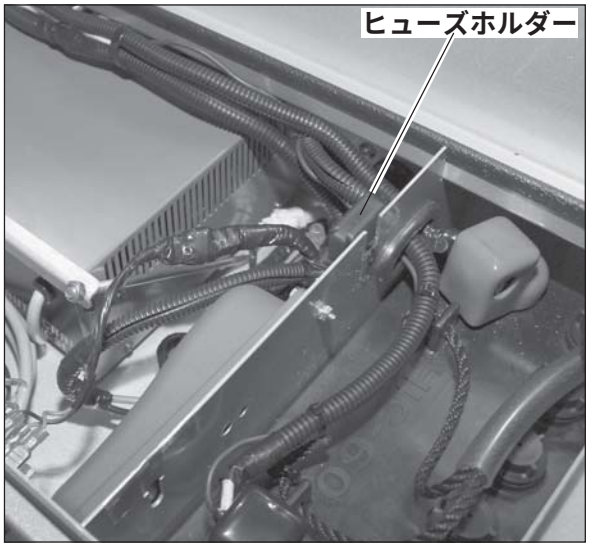
座席を高くして、電源ボックスのふたを開きます。（Ｐ２６参照）電気配線コードが他の部品に接触していないか点検します。電気配線コードが傷んでいる場合は、販売店または、ＪＡで修理してください。
電気配線は１年毎に定期点検を受けてください。

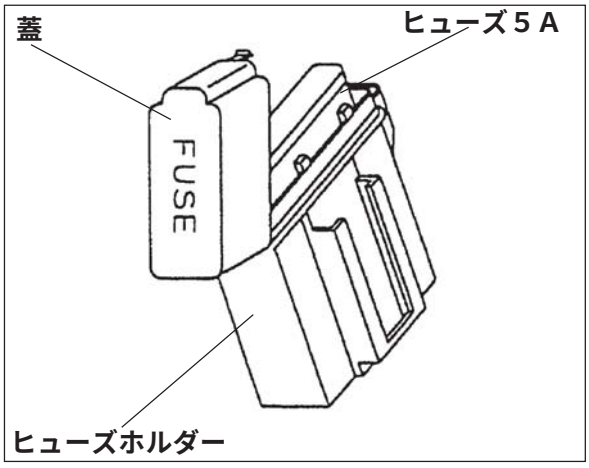


4．ヒューズの点検・交換のしかた

ヒューズは、配線回路（通電している回路）へ過大電流が流れた場合、溶断して電流を遮断します。

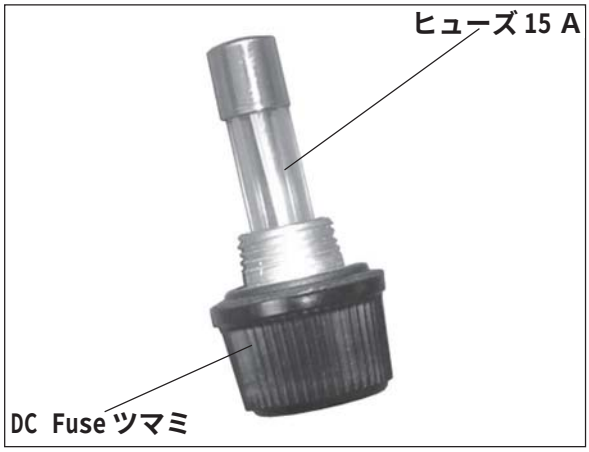
座席を高くして、電源ボックスのふたを開きます。（P 26参照）電源ボックスの中に、ヒューズホルダーがあります。ヒューズ切れの場合はキースイッチを**「切」**位置にしてから５Ａのヒューズと交換してください。





また、充電器のDC Fuseのツマミに１５Ａのヒューズがあります。ヒューズ切れの場合は充電器の電源スイッチを**「ＯＦＦ」**位置にしてから交換してください。





取扱いの注意

●ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のものと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用すると故障の原因になります。

●ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は、お買上げいただいた販売店・ＪＡで点検を受けてください。

5．バッテリの点検・整備、交換のしかた

⚠危険

●バッテリの点検・充電時は火気厳禁です。守らないと引火爆発し、火傷を負うおそれがあります。

●バッテリ液は希硫酸ですので身体や服に付くと、火傷を負ったり、服が破れたりすることがあります。もし、身体や服に付いたときは、すぐに水洗いをしてください。

●バッテリからコードを外すときは、必ず㊀側から外し、取付けるときは、必ず㊉側から取付けてください。工具などが接触したときにショートして、火傷や火災事故をまねくおそれがあります。

●バッテリ㊉ターミナルのゴムブーツは必ず取付けておいてください。ショートすると火傷や火災事故をまねくおそれがあります。

●バッテリ充電中は、ガスが発生しますので風通しの良い場所で行ってください。

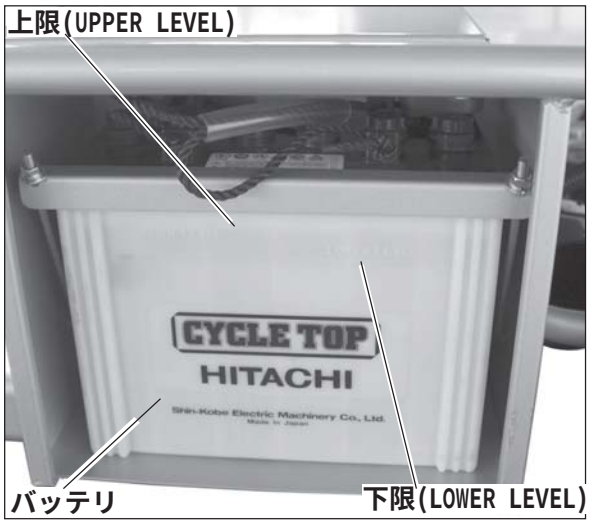
⚠警告

●バッテリ液は、液面レベルの「上限(UPPER LEVEL)」と「下限(LOWER LEVEL)」の間にあることを確認してください。もし「下限(LOWER LEVEL)」以下になると、容器内の極板接続部が露出し、キースイッチを「入」にした時に火花が出て、容器内のガスに引火して破裂するおそれがあります。

バッテリ液点検

作業前には、各槽のバッテリ液がバッテリケース液面レベルの上限(UPPER LEVEL)と下限(LOWER LEVEL)の間にあるか確認してください。不足しているときは、座席を高くして、電源ボックスのふたを開き、蒸留水を補給してください。バッテリが弱くなっていたら、充電をしてください。(P 26 参照)

指定バッテリ	EB50

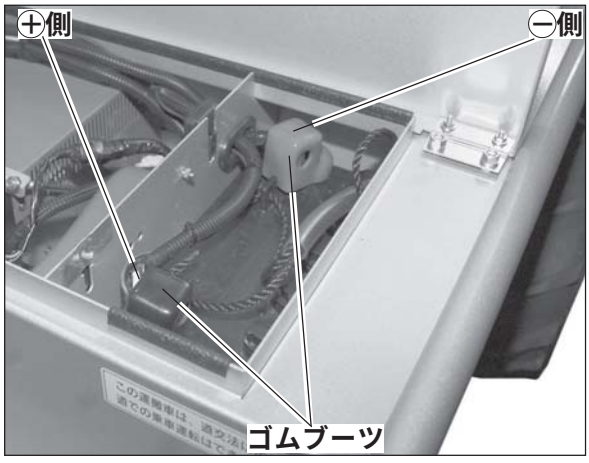


※蒸留水はガソリンスタンドで販売しています。

バッテリの交換のしかた

①座席を高くして、電源ボックスのふたを開きます。(P 26 参照)

②バッテリの㊀側のコードを取外し、次に㊉側のコードを取外します。



④バッテリを固定してある押え板のナットをゆるめ、押え板を取外してバッテリを取出します。



⑤新しいバッテリを取付けるときは、取外しの逆の手順で行ってください。

格納のしかた

格納時は、日光が当たらない、乾燥した場所に本機を水平にし、バッテリ液がこぼれないように保管してください。

取扱いの注意

●バッテリ液は、常に規定量を保ってください。

●バッテリ液をバッテリケース液面レベルの上限(UPPER LEVEL)を超えるほど入れますと、使用中に液もれし、本機を腐食させることがありますので、補給するときは、液面レベル上限(UPPER LEVEL)を超えないように注意してください。

●本機を長時間使用しないときは、最低１ケ月に１回は補充電を行ってください。バッテリが長持ちします。

●取付けのとき、ターミナル接続部の油などを布でふき取り、バッテリ端子を確実に締付けて、腐食防止のためにターミナル部にグリスを塗布してください。

●バッテリを交換するときは、必ず規定のバッテリを使用してください。

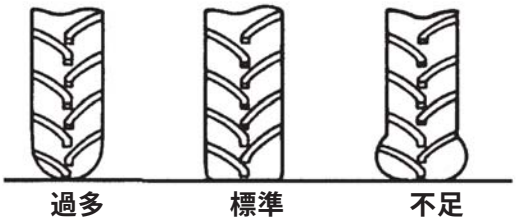
●環境保全のため、交換した古いバッテリは放置したり、捨てたりせずに、新しいバッテリを購入した店へ渡してください。

６．タイヤ空気圧の調整のしかた

⚠注意

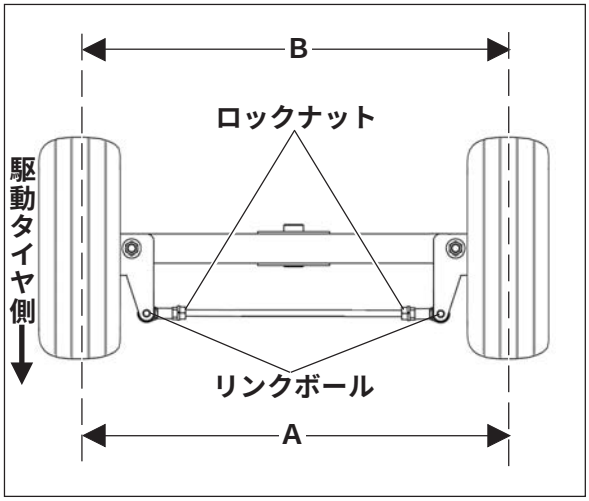
●左右の空気圧が均等になっていないと運転中にハンドルを取られることがあります。タイヤの空気圧を標準空気圧に調整してください。また、タイヤに傷・亀裂などがないか確認してください。

タイヤサイズ	空気圧KPa (kgf/cm²)
前輪タイヤ (TL12×4.00-5 4PR RB10A)	３５０ (３.５)
後輪タイヤ (TL12×5.50-6 2PR L970A)	１２０ (１.２)

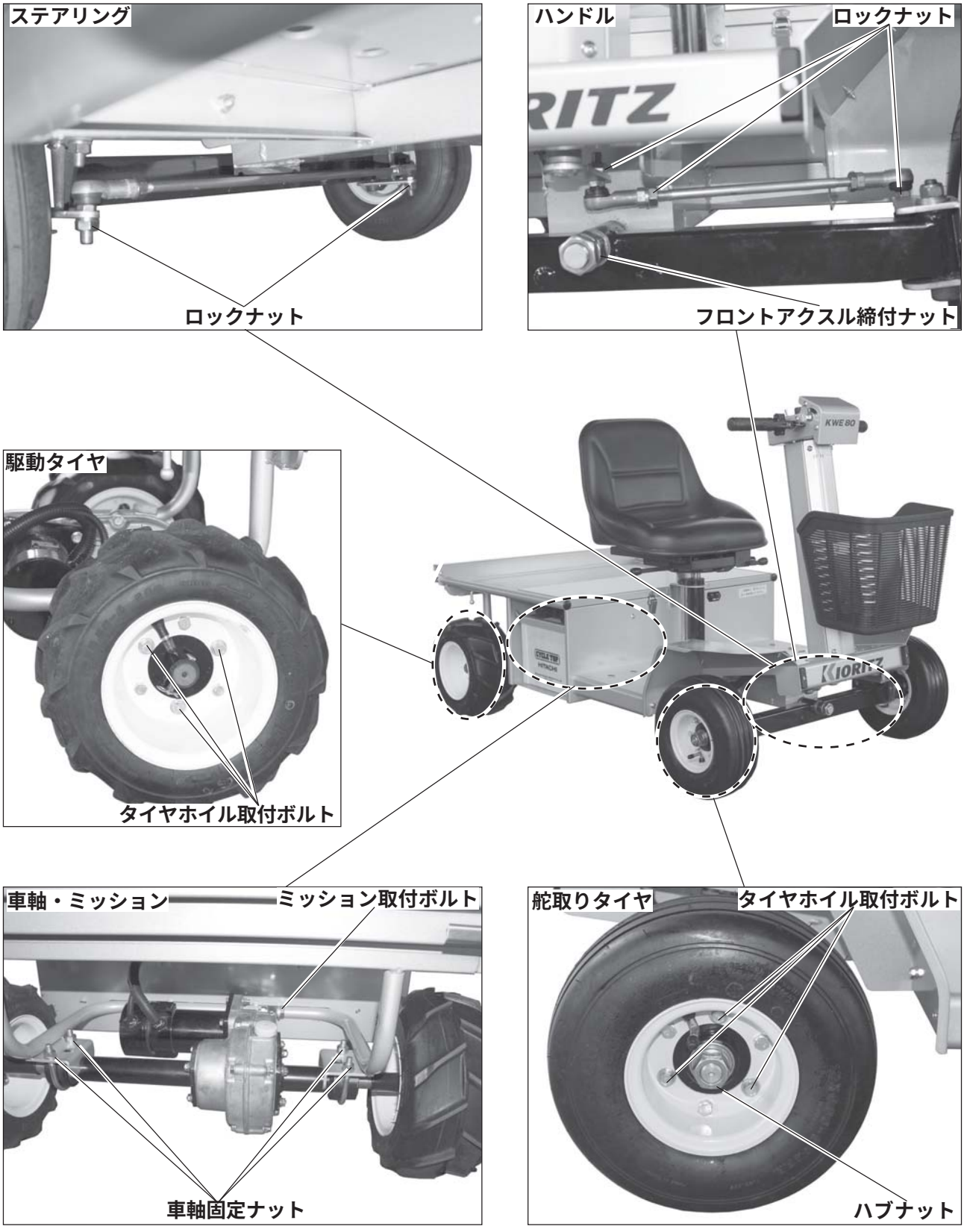


７．トーインの点検・調整のしかた

トーインの調整が悪いと、ハンドルを取られたり異常に振れることがあります。調整は舵取りタイヤのＡ寸法とＢ寸法を測定し、ＡとＢが同寸法であるか調べてください。同寸法でない場合は、お買上げいただいた販売店・ＪＡで必ず点検・調整を受けてください。



8．締付けするところ



※舵取りタイヤ・駆動タイヤホイル取付ボルト、ハブナットは、左右にそれぞれにあります。
※この他のボルト、ナットも時々点検し、増締めしてください。

⚠警告

●機械の調子が悪いときは、必ずキースイッチを「切」位置にしてから診断してください。守らないと、回転物にはさまれて傷害事故の原因になります。

下記の処置をしても改善されないときは、最寄の販売店・ＪＡに連絡してください。

１．電源が入らない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
サーキットブレーカが作動していませんか。	切れた原因を取除いて、時間をしばらくおいてから始動してください。	３０
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	２５
バッテリ液が減っていませんか。	蒸留水を補充してください。	４３
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４３
走行回路のヒューズが切れていませんか。	ヒューズを交換してください。	４２
電気部品が故障していませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	４１
配線が切れたり、接続部がゆるんでいませんか。		

2．走行しない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
締結ピンが抜けていませんか。	締結ピンを取付けてください。	31
坂道または、悪路を走行していませんか。	本機の能力に合った圃場、10度以下の坂道を走行してください。	32
積荷が重過ぎませんか。	積荷を軽くしてください。	30･32
電気部品に水が掛かっていませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	41
配線が切れたり、接続部がゆるんでいませんか。		
コントローラが故障していませんか。		―
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	25
バッテリ液が減っていませんか。	蒸留水を補充してください。	43
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	43

3．まっすぐ走らない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
走行関係の不具合ではありませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	―

4．停止距離が長くなった

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
モータ付デフミッションの故障ではありませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	31

５．速度が遅くなった

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
モータ付デフミッションが故障していませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	―
タイヤの空気圧が不足していませんか。	空気を入れてください。	４４
積荷が重すぎませんか。	坂道では特に積荷を軽くしてください。	３２
乗用･歩行切換スイッチが**「歩行運転」**位置になっていませんか。	乗用･歩行切換スイッチを**「乗車運転」**位置にくしてください。	３６
コントローラが故障していませんか。	販売店、ＪＡに相談してください。	―
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	２５
バッテリ液が減っていませんか。	蒸留水を補充してください。	４３
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４３

６．稼動時間が短くなった

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
バッテリ電圧が低下していませんか。	バッテリを充電してください。	２５
バッテリ液が減っていませんか。	蒸留水を補充してください。	４３
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４３

７．充電できない

この確認をしてください。	処　　置	参照ページ
充電器が故障していませんか。	充電器の電源とヒューズを点検してください。それでも充電できない場合は、販売店、ＪＡに相談してください。	２５･４２
バッテリの寿命が来ていませんか。	バッテリを交換してください。	４３

1．主要諸元

型式名			KWE80
機体寸法	全長 (㎜)		1580（バッケト無し1400）
	全幅 (㎜)		895
	全高 (㎜)		950
機体質量 (kg)			145
バッテリ	型式名		EB50
	電圧		12V×2
	容量		50AH
モータ出力			24V/175W
伝動・走行部	駆動方式		後2輪直結駆動（デフ付）
	制動方式		モータ回生制動電磁ブレーキ連動
	変速段数		前進1段　後進1段
	走行速度 (㎞/h)	前進	0～4.7（歩行時 0～2．5）
		後進	0～2.5（歩行時 0～1．8）
	前輪タイヤ		TL12×4.00－5　4PR　B810A
	後輪タイヤ		TL12×5.50－6　2PR　L970A
	輪距 (㎜)	舵取りタイヤ	730
		駆動タイヤ	750
	軸距 (㎜)		1050
荷台	寸法 (㎜)	長さ	410～640
		幅	755
	最大作業能力 (kg)		170（バケット積載量3㎏、作業者の体重含む）
	床面最低高 (㎜)		390
座席高さ (㎜)			600～800
乗車定員			1名
実用登坂角度			10°
連続走行時間			約6時間（最大積載時、作業者の体重含む）
連続走行距離			25㎞（最高速、平坦地、作業者の体重含む）

●この仕様は改良などにより、予告なく変更することがあります。

２．主要消耗部品

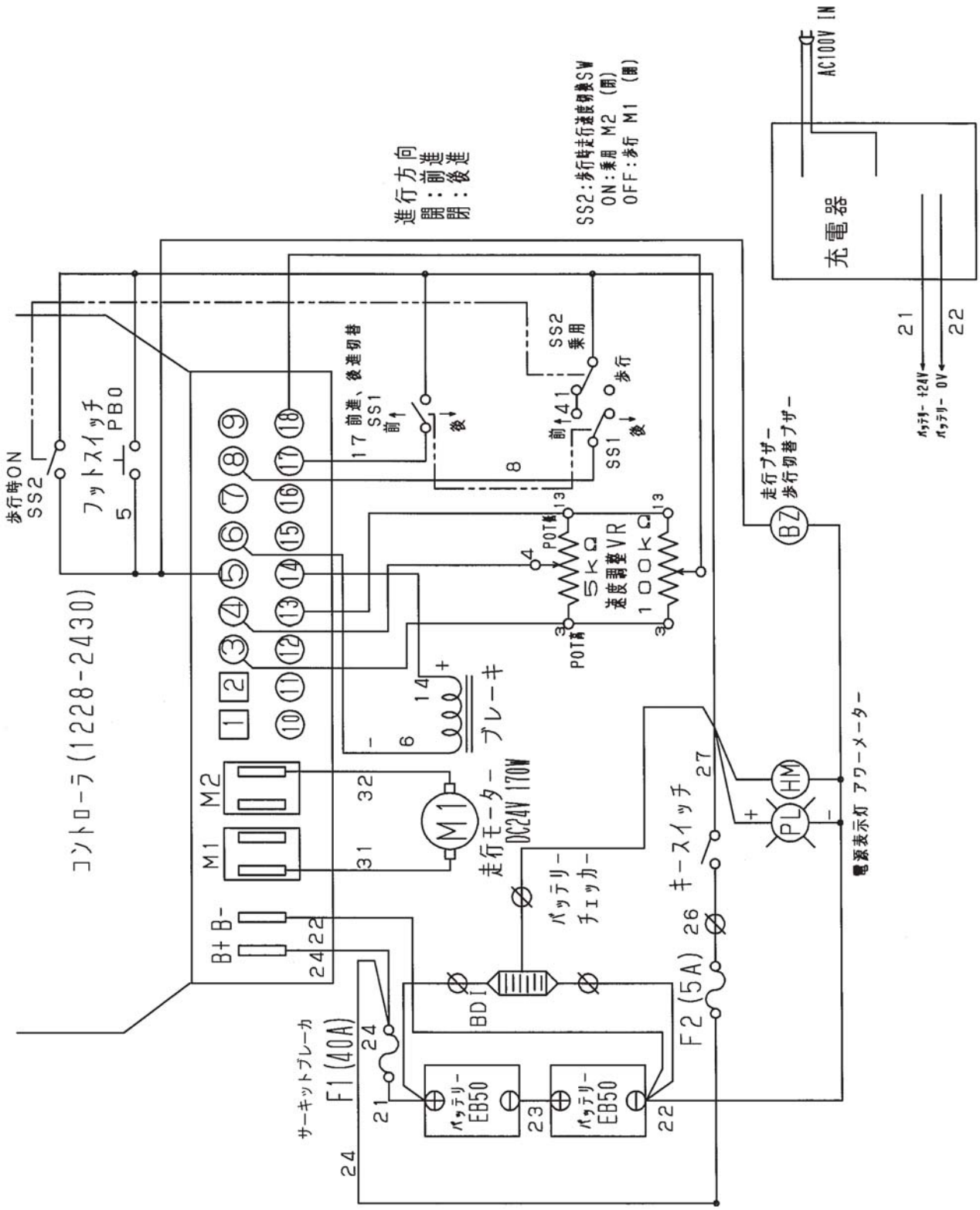
NO.	品名	部品番号	備考
1	バッテリ	１Ｎ１３０５－５１１００	ＥＢ５０（ＨＩＣ－６０）２ケ
2	前輪タイヤ	１Ｅ１１８６－３７０００	ＴＬ１２×４.００-５　４ＰＲ　Ｂ８１０Ａ　２本
3	後輪タイヤ	１Ｅ１１８５－３７０４０	ＴＬ１２×５.５０-６　２ＰＲ　Ｌ９７０Ａ　２本
4	ヒューズ	１Ｅ１１６０－５２０４０	５Ａ
5	ヒューズ	１Ｅ１１８５－５１３６０	１５Ａ

8章

付属品

№	品名	個数		部品番号	備考
1	取扱説明書	1		１Ｅ１１８６－９５０３０	
2	バッテリ取扱説明書	1			
3	保証書	1			

●KWE80


AC100V IN
充電器
21
22
バッテリー +24V
バッテリー 0V
進行方向
開：前進
閉：後進
SS2：歩行時走行速度切換SW
ON：乗用 M2 (用)
OFF：歩行 M1 (用)
歩行時ON
SS2
フットスイッチ
PBO
5
コントローラ (1228-2430)
B+ B-
M1 M2
1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18
17 前進、後進切替
SS1
前
後
8
SS2
乗用
歩行
前 41
SS1
後
POT黒
POT青
5KΩ
速度調整VR
100KΩ
13
4
3
6
14
ブレーキ
走行モーター
DC24V 170W
M1
32
31
24 22
バッテリーチェッカー
BD
サーキットブレーカ
F1 (40A)
24
21
23
22
バッテリー EB50
バッテリー EB50
F2 (5A)
26
キースイッチ
27
走行ブザー
歩行切替ブザー
BZ
PL
HM
電源表示灯 アワーメーター

株式会社やまびこ

〒198-8760 **東京都青梅市末広町 1-7-2**　　**Tel 0428-32-6181**

やまびこ北海道株式会社
〒004-0041　北海道札幌市厚別区大谷地東 1-2-20　　Tel 011-891-2249（代）

やまびこ東北株式会社
〒984-0002　宮城県仙台市若林区卸町東 5-1-50　　Tel 022-288-0511（代）

やまびこ東部株式会社
〒198-0025　東京都青梅市末広町 1-7-2　　Tel 0428-32-1091（代）

やまびこ中部株式会社
〒452-0031　愛知県清須市西枇杷島町宮前 1-39　　Tel 052-502-4111（代）

やまびこ西部株式会社
〒701-0221　岡山県岡山市藤田 566-159　　Tel 086-296-5911（代）

やまびこ九州株式会社
〒816-0943　福岡県大野城市白木原 5-3-7　　Tel 092-573-5361（代）

ご用命の際はお買い上げいただいた販売店へご連絡ください。

(C) 2009 株式会社やまびこ　著作権法により無断での複製、転載などは禁止されております。